ソリューションの概要

TREND VISION ONE™

Cyber Risk Exposure Management (CREM)

プロアクティブにサイバーリスクを発見、予測、評価、軽減。
影響度を考慮した優先度付けで迅速な対応を実現。エクスポージャを最小化することで、サイバーレジリエンスを強化。

セキュリティ管理部門がリスクを効果的に管理するには全体像の把握が不可欠です。 データの分断、過剰なアラート、関連性の把握不足により、重大なリスクが見逃される可能性があります。

Trend Vision One™ Cyber Risk Exposure Management (CREM) は可視化を優先し、お客様に明確な視点を提供することで、リアクティブな対応からプロアクティブな対応へと転換します。リスクの所在と対応方法を共有することで、セキュリティ運用を強化します。

リアクティブなセキュリティの時代は終了

セキュリティ管理部門は、見えないものを守ることはできません。CREMはこの課題に真正面から取り組み、ID、デバイス、クラウド資産、ネットワーク、アプリケーションなどに対してリアルタイムで包括的な可視化を提供します。組織全体のアタックサーフェスに潜む未知または管理されていないリスク領域を明らかにし、脅威が顕在化する前に予測・適応・対処できるようにします。セキュリティとコンプライアンスの体制を強化し、サイバーリスクをビジネス視点で定量化する即効性のある対策を実行しましょう。単に脅威を管理することではなく、組織にとって真のサイバーリスク耐性を育むことです。CREMと、AIを活用したAI-Powered エンタープライズ サイバーセキュリティプラットフォームTrend Vision One™を活用することで、リアクティブ型からプロアクティブ型への移行を実現しましょう。

ひとつのプラットフォームで、すべてのリスクを見える化

アタックサーフェス（攻撃対象領域）とリスクの可視化

攻撃対象領域全体を、継続的かつリアルタイムで把握します。既知・未知・非公開の内部資産やサードパーティ資産を含め、すべてをビジネスへの影響に基づいて評価します。さらに、CREMは、コンプライアンスとサイバーリスクの定量化を統合することで、単なる資産の発見を超えた真のリスクの全体像を提供します。

他社にないリスクインテリジェンスの優位性

全てのリスクが同じように重要なわけではありません。CREMは、サイバーセキュリティ向けプロアクティブAI「**Trend Cybertron**」、脆弱性発見プログラム「Trend Zero Day Initiative™（Trend ZDI）」、10以上のリスク要因、業界最大級の自社センサー網によって、高度な関連付けに基づくリスク評価とスコアリングを提供します。 **Omdiaの調査**によると、世界の脆弱性の約60%はトレンドマイクロが独自に公開したものであり、お客さまは一般公開よりも90～120日早く脆弱性に関する情報と保護を得ることができます。この情報が、お客様のリスクの優先度づけをサポートします。

業界初のセキュリティとリスクツールの統合

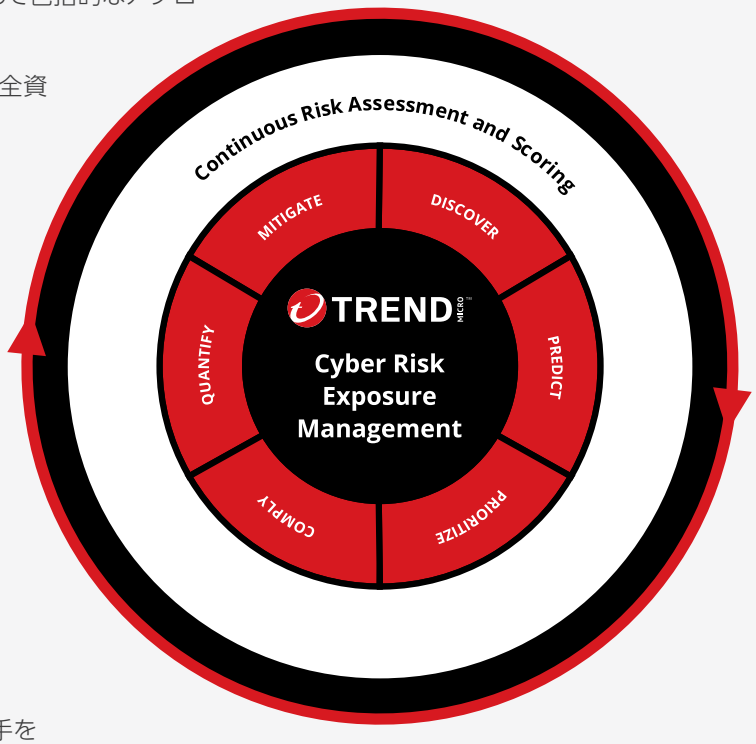
他のソリューションにはない、複数の重要なセキュリティおよびリスク管理機能をひとつに統合します。
CREMは、EASM、CSPM、VRM、ASM、CAASM、セキュリティ意識向上など、複数のポイントソリューションを統合し、コスト・複雑性・運用負荷を大幅に削減します。

CREMは、分散しがちなツールや部分的な可視化を統合し、リスクの全体像を提供するという革新的なアプローチを採用しています。クラウド、データ、アイデンティティ、API、AI、コンプライアンス、SaaSアプリケーションにわたって、可視化・リスクインテリジェンス・対策を一つの強力で使いやすいソリューションに統合します。明確な可視化とコントロールをもって、攻撃者より先手を打って行動し、確信をもってビジネスをプロアクティブに守りましょう。

CREMによるリスク管理のライフサイクル

セキュリティ管理部門がサイバーリスクとエクスポージャ管理に対して包括的なアプローチを取れるように支援します。

- リアルタイム検知とリスクベースの脆弱性管理により環境全体の全資産を**発見**し、見落としを排除
- 高度な脅威インテリジェンスで、攻撃が発生する前に**予測**し、攻撃者の動きを先読み
- 脅威の深刻度だけでなく、資産の重要度、脅威動向、ビジネスへの影響を考慮した高度なリスク評価に基づいてリスクを**優先度付け**
- NIST、FedRAMP、GDPRなどの基準に**準拠**した監査対応レポートを即時生成
- リスク状況を**定量化**し、関係者や経営層に明確に伝えることで、戦略的な意思決定と投資判断の最適化を支援
- AIによって導き出された推奨の**リスク軽減策**とSecurity Playbookによる自動化を活用することで、リスクへの対応と修復を迅速化
- **継続的なリスク評価スコアリング**により、リスクに早期に気づき、優先順位付け、エクスポージャ削減、業界比較を通じて脅威へ先手を打つ



プロアクティブセキュリティ、始動。

Trend Vision Oneは、下図に示すようにサイバーリスクの管理(Cyber Risk Exposure Management)、セキュリティ運用(SecurityOperations)、多層防御を一元化し、脅威の予測と防止をサポートする唯一のAI-Powered エンタープライズ サイバーセキュリティプラットフォームです。

主な機能、および機能名称	説明	CREMで提供
Attack Surface Discovery	オンプレミス、クラウド、インターネットに公開された資産やアプリケーション全体のエクスポージャを特定し、攻撃者の侵入口を削減します。	●
Security Playbooks	自動化された脅威対応により、アラート疲れを軽減し、迅速な対処を実現します。	●
Dashboards and Report	リスクを詳細分析し、迅速かつデータに基づいた意思決定を支援するレポートを生成します。	●
External Attack Surface Management (EASM)	外部向け資産を特定・保護し、見落としを最小限に抑えます。	●
Identity Security Posture	行動分析とデータ連携によりアイデンティティに関するリスクを検知し、アクセス制御を強化します。	●
クラウドアセットリスト（一覧）	マルチクラウド環境を一元的に可視化し、クラウド管理を向上させます。	●
リスク評価と優先順位付け	オンプレミスおよびクラウド資産のリスクを迅速に評価し、優先順位付けて対処を促進します。	●
脆弱性リスク管理	重大な脆弱性を迅速かつ正確に特定・優先順位付けて修復を支援します。	●
Attack Path Prediction	AIを活用して脅威や攻撃される可能性のある経路を予測し、事前対策を支援します。	●
Compliance Management	自動化された制御と実用的なインサイトにより、手作業を減らし、各種コンプライアンス基準に準拠します。	●
セキュリティ意識向上トレーニング	ユーザに対するセキュリティ教育とフィッシングシミュレーションにより、人的ミスを低減します。	●
関係性に基づく資産の可視化とグラフ化	資産の関係性を可視化し、潜在的なリスクを発見して迅速な対応を可能にします。	●
コンテナのランタイム脆弱性の優先度づけ	実行前にコンテナのリスクを検知・優先度付けし、早期に脅威を遮断します。	●
Cloud Security Posture Management (CSPM)	クラウドの設定ミスを検知し、ベストプラクティスやフレームワークを適用してコンプライアンスを維持します。	●
エージェントレスのマルウェア・脆弱性スキャン	資産の健全性を継続的に評価し、脅威を検知してエクスポージャを削減します。	●
Amazon API Gatewayと連携するAPIの可視化	認証の脆弱性などのAPIリスクを検知し、外部アクセスを保護します。	●

Copyright ©2025 Trend Micro Incorporated. All rights reserved. Trend Micro、Trend Micro ロゴ、Trend Micro t-ball ロゴ、Trend Vision One、Trend Zero Day Initiativeは、Trend Micro Incorporated の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、各所有者の商標ま たは登録商標である場合があります。本書に記載されている情報は予告なく変更される場合があります。Trend Micro、Trend Micro ロゴ、Trend Micro t-ball ロゴは米国特許商標庁登録商標です。TrendMicro.com [SB01_CREM Solution Brief_240416JP]

TrendMicro.com

当社が収集する個人情報の内容および収集目的の詳細については、当社ウェブサイト上のプライバシーに関するお知らせをご覧ください：trendmicro.com/privacy

30日間の無料体験版をお試しください

TrendMicro.com/trial